

むつ社協だより

「社協」は(社)会福祉(協)議会の略称です。

No 88

ひよこ組

りす組

HAPPY NEW YEAR 2023

近川
保育園

くま組

ぞう組

うさぎ組

P 2 新年の挨拶
近川保育園新入園児募集

P 3~6 事業の実施報告

P 6~7 事業の利用案内

P 8 むつ市社会福祉協議会会員へのご加入にご協力をお願いいたします。

近川保育園「新年あいさつ」



新年明けましておめでとうございます。
市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、本会の各種事業の推進につきまして、格別なるご理解とご支援を賜り衷心より感謝申し上げます。

新しい年におきましても、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりのため、役職員一丸となり地域福祉の推進に努めて参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症の終息を願うとともに、市民の皆様のご健勝・ご多幸を心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人 むつ市社会福祉協議会

会長 遠藤 雪夫
外役職員一同

近川保育園新入園児募集

子育て世代の就労支援等を目的に認可保育園を設置開設しており、令和5年度の新入園児を募集しています。

当園の特色として、和太鼓を通じ「集中力」、「持続力」、「協調性」を身につけるとともに、季節に応じた諸行事及び延長保育を実施しています。また、送迎バスを完備し、ご希望により園児の送迎を行っていますのでご家庭の実状に合わせてご利用ください。

◎入園のご案内

●入園要件

- お父さん、お母さんが仕事をしている場合
- 疾病、心身に障害のある場合
- 出産、求職活動中の場合（ご相談ください）
- 受入年齢 生後4か月〜小学校就学未満50名
- 入園定員 午前7時〜午後6時30分（延長保育含む）
- 開園時間 4月1日〜（年度の途中でも入園できます）
- 入園時期

◎主な保育サービス

- 延長保育 午後6時〜6時30分
- 乳児保育 生後4か月〜
- 障害児保育 集団生活が可能な園児
- 食物アレルギー給食 食物アレルギーをお持ちのお子さんには、安心して美味しい給食を提供するため、医師の診断書をご提供いただき、アレルギー食品を完全除去をし、代替え食品にて対応いたします。
- バス送迎 ご希望により、生後6か月以上の園児を対象に、保育園までの送迎を実施しています。

◎保育園の特色

● 保育理念 自然豊かな環境の中で、子ども一人ひとりを大切にし、家族、地域に信頼され愛される保育園を目指しています。

● 保育方針

健康で明るい子
しつけのよい子
物を大切にする子
思いやりのある子

● 和太鼓

日本総合音楽研究の講師による指導を行っています。和太鼓を通じて、集中力、持続力、協調性を身に付けていきます。

● 施設見学お問合せ
近川保育園
☎2612117



事業の実施報告

◎集学サロン

講座やレクリエーションを通じて住民同士が交流することや、ボランティアや地域づくりの支え手を育成することを目的に6月、8月、11月の全3回で開催しました。

全3回全て「むつ市下北自然の家」での開催で、第1回は午前にはバードコール作りをし、野鳥ウォッチングに出かけ自然を満喫しました。午後はつどいの場づくりやボランティアについて学びました。第2回は、カラーリングで体を動かした後、「東北電力(株)むつ営業所」と「東北電力ネットワーク(株)むつ電力センター」から講師をお迎えし、上手な節電や電気の安全な使用方法などについて学びました。

第3回は、「むつ市ウェルネスパーク」から講師をお迎えし、介護予防についてのお話を交えながら楽しく体操をし、健康について学びました。午後は、竹とんぼ作りをした後、竹とんぼ飛ばし大会を行



講師 峯 雅夫 氏

◎防災研修会

9月28日(水)にむつグランドホテルにおいて防災研修会を開催し、約200名のご参加をいただきました。

NPO法人青森県防災士会むつ支部 峯 雅夫氏を講師にお招きし、「自らの命は自ら守る私の防災×あなたの防災減災のための支え合う力」と題して、実際の災害の実情を交えながら講話をしていただきました。参加者の皆様からは暮らしている地域の実状を踏まえた質問が挙がるなど有意義な時間となりました。

い、皆で童心に帰り盛り上がりました。参加者は集学サロンを通し、友人関係が生まれたり、他町内会同士で交流会をしたりと親交を深めていました。集学サロンで学んだことや体験したことを、身近な人に伝えていただき、良い情報交換の連鎖や交流の輪が広がることを願っています。

◎ふれあいバスの旅

10月26日(水)と28日(金)に、「ふれあいバスの旅」を実施しました。市内在住の65歳以上の方を対象に両日合わせて128名の方々にご参加いただきました。

今年度は、「バスで行く黒石中野もみじ山」と題し、黒石市、弘前市方面へ出向きました。中野もみじ山の紅葉を見たり、津軽伝承工芸館や道の駅でのお買い物など、皆さん和気あいあいと楽しんでいる様子でした。



中野もみじ山での紅葉散策



津軽伝承工芸館でお買物

◎ひきこもりサポーター養成講座 (前期プログラム)

ひきこもりの状態にある本人や家族等に対するボランティア支援に関心のある方を対象に、ひきこもりに関する基本的な知識について学び、ご自身にできる支援について考えていただくことを目的とした「令和4年度ひきこもりサポーター養成講座(前期プログラム)」を10月29日(土)、プラザホテルむつにおいて開催しました。

今回は、障害福祉施設ハートランドさくら施設長補佐 三浦 和之氏、青森県公認心理師・臨床心理士協会会長 浅田 英輔氏の両名を講師に迎え「ひきこもりについて知ろう」「居場所支援について考えよう」「ひきこもる人々や家族の心理」についての講義をいただき、受講者からは「身近な問題であることを知った」等の感想が聞かれ、全てのカリキュラムを終えた14名に前期プログラムの修了証を交付しました。



◎ふれあい昼食会

11月2日(水)に脇野沢地区において「ふれあい昼食会」を開催し、約15名のご参加をいただきました。川内地区の紅葉や道の駅かわうち湖の散策をし、地域交流センターで昼食を楽しみました。天候にも恵まれ、綺麗に色付いた木々に感動した様子でした。参加者からは「久しぶりに出掛けられて楽しかった」「また観に來たい」などの感想が聞かれました。



大滝公園にて紅葉を散策



道の駅かわうち湖にてお買物

◎社会福祉大会

11月11日(金)におつぐランドホテルにおいて、「第62回むつ市社会福祉大会」を開催しました。当日は、福祉関係者など200名が出席し、八戸学院大学健康医療学部人間健康学科長・教授 吉田 守実氏を講師にお招きし、「コロナ禍における地域福祉活動の見直しの必要性と新たな方策」と題して現在の仕組みや地域住民の役割について講話をしていただきました。式典では永年にわたり、地域福祉向上にご尽力された方々への表彰及び感謝状の贈呈を行いました。表彰及び感謝状を受けられた方々は、次のとおりです。(敬称略・順不同)

●表彰の部

民生委員児童委員として永年にわたり地域福祉活動に尽力されました。

- 中嶋 泰子 石田 武士
- 坂本 廣孝 菊池 美枝
- 佐藤 きぬ子 佐藤 みどり
- 鈴木 寿子 畑 中みさを
- 黒滝 美代子 鍋谷 昭弥
- 木村 茂 川上 和枝
- 山本 真弓 中居 省悟
- 川崎 真弓

民間社会福祉施設、社会福祉協議会及び社会福祉団体役員として永年にわたり地域福祉活動に尽力されました。

- 林 きさ 澤頭 あい
- 個人または団体等で、社会福祉事業協助者として、永年にわたり地域福祉活動に尽力されました。
- 佐々木 さとみ

社会福祉の重要性を深く認識され、永年にわたり経済的援助をされました。
龍本寺

●感謝の部
 社会福祉の重要性を深く認識され、令和3年度において社会福祉事業に積極的に協力援助をされました。

海上自衛隊大湊海曹会
 株式会社トーリン
 昭和43年度田名部高等学校3年2組クラス会
 むつフレンドリークラブ
 有限会社関商店
 一般社団法人公済会



第62回むつ市社会福祉大会
 講師 八戸学院大学
 健康医療学部人間健康学科
 学科長・教授
 吉田 守実 氏による講演



表彰状及び感謝状の授与

◎ふれあい広場

11月29日(火)に大畑地区の各福祉団体の交流を目的として、「ふれあい広場」をむつ市大畑体育館において、開催しました。

当日は、約70名のご参加をいただき、ボール送りや玉入れなどのレクリエーションを楽しみました。この日を心待ちにしていた方も多く、大いに盛り上がりました。



スリッパ飛ばしゲーム

4チームに分かれて、飛ばしたスリッパの向きで点数を競い合いました。

チーム対抗でボール送りゲームを楽しみました。



ボール送りゲーム

◎ふれあいクリスマス会

12月18日(日)にむつグランドホテルにて、「令和4年ふれあいクリスマス会」を開催しました。このイベントは、在宅で暮らす障害者とボランティアが共にクリスマスを楽しみ、それによってボランティアの育成を図ることを目的としたもので、NHK歳末すけあい義援金を活用して例年実施していません。

今年61名のご参加をいただき、新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、下北地区レクリエーション協会の方々による趣向を凝らした各種レクリエーション、ホテル自慢のお弁当、食後にはむつ工業高等学校によるハンドベル演奏とビンゴゲームを実施し、楽しいクリスマス会となりました。

参加者の皆さんで楽しくかるた取りをしました。



レクリエーションのかるた



ハンドベル演奏

むつ工業高等学校生徒によるハンドベル演奏。「ジングルベル」、「お正月」の2曲演奏していただきました。

令和4年度ふれあいクリスマス会



食後のビンゴゲーム



レクリエーションの脳トレ

◎年越しそばを 楽しむ会

12月23日(金)に川内地区の65歳のひとり暮らし高齢者を対象に「年越しそばを楽しむ会」を川内公民館において、開催しました。当日は、34名のご参加をいただき、十割手打ちそばで一足早い「年越しそば」を堪能しました。

事業の利用案内

◎除雪ボランティア

むつ市ボランティア市民活動センターでは、除雪ボランティア活動を実施しています。除雪の依頼を受けますと、センター職員が状況確認に伺い必要に応じてボランティアと日程調整を行い除雪活動を実施します。併せて、除雪ボランティアを募集します。活動にご協力いただける方はぜひご登録をよろしくお願いいたします。

●対象要件

- (1) 高齢者世帯 75歳以上の高齢者のみの世帯
- (2) 身体障害者世帯 身体障害者のみの世帯
- (3) 共通事項

① 自己所有の一戸建て(借家含)に居住していること

② 市内に除雪が出来る親族が居住していないこと

③ 低所得世帯(参考:世帯の収入合計が概ね月に12万円未満)

●期

間 3月31日まで
月曜日～金曜日(祝日を除く)

●時

間 午前9時～午後4時まで

●除雪箇所

出入口、ストーブの排気口確保、ガスボンベ周り等
※屋根の雪下ろしは行いません。

●除雪ボランティアの登録

● 募集範囲 市内在住で除雪活動に協力できる方

● 募集期間 3月31日まで随時受付

● 留意事項 事故・ケガ等に備えボランティア保険に加入していただきます。(自己負担金はありません。)

●問合せ先

むつ市ボランティア・市民活動センター
☎ 3313023

◎むつ市ひきこもり相談窓口

ひきこもりに悩んでいるご本人やご家族の相談に応じるため「ひきこもり相談窓口」を開設しています。

ひきこもりの状態が続くとご本人だけでなくご家族も心配や不安が募ります。

ひきこもりは、その要因として様々な背景が絡み合っていることがあり、それぞれの状態に応じた対応を考え、工夫していくことが必要です。

「もう遅い」などとあきらめたり、家族だけで抱え込まず、まずはご相談ください。

●相談日時

月曜日～金曜日(祝日を除く)
午前9時～午後5時まで

●問合せ先

ひきこもり相談窓口
☎ 2212731

◎ひきこもり当事者の集い 「ふらっとほーむ」

青年期の「社会的ひきこもり」の状態にあり社会参加が困難な方を対象に、家庭以外の居場所や同世代を中心とした対人関係を体験する場を提供し、社会参加を促進することを目的としています。

●対象者

ひきこもり相談窓口に相談に来られ「ふらっとほーむ」への参加が適当であると認められる方。

●場

所 むつ市海老川コミュニティセンター

●参加費

無料
スポーツ・レクリエーション・話し合い等

●問合せ先

ひきこもり相談窓口
☎ 2212731

◎ひきこもり家族の集い

「ほっとすペーす」

ひきこもりや心の悩みを抱え、なかなか社会とつながれずにいるご本人への理解を深めるための家族会です。本人の年齢、家にいる期間、病気や障害の有無など、本当に様々ですが、「なんて声をかけたらいいか」「どう関わったらいいか」といった悩みは皆さん共通するものがあります。ご家族の心が少しでも軽くなるように、私たちも共に考えてまいります。

●場 所 むつ市海老川コミュニティセンター

●参加費 無料

●活動内容 精神保健福祉士・保健師等による講話や座談会、参加者同士の体験を語る話し合い、ひきこもりに関する基本的な理解及び対応を検討するための研修等。

●問合せ先 ひきこもり相談窓口 22-1273-1

「ふらっとほーむ」日程	
月	日
2	10(金)・24(金)
3	10(金)・24(金)
4~	第2・第4金の予定

13:30~15:30

「ほっとすペーす」日程	
月	日
2	22(水)
3	23(木)
4~	第4木の予定

14:00~15:30

◎むつ市成年後見センター

認知症や知的障害などで判断能力が不十分な方を支援する成年後見制度について、相談やサポートを一括して担う「成年後見センター」を開設しました。

センターは、成年後見制度の利用を考えている方やその家族の相談に応じ、手続きの説明や助言を行う他、地域住民で研修を受けた「市民後見人」と制度を利用したい方とのマッチングも行い、より適切な支援に繋がっていきます。

●相談日時

月曜日・金曜日(祝日を除く) 午前8時30分~午後5時まで

●問合せ先 生活支援課

☎33-3023



◎教育支援資金貸付のお知らせ

低所得世帯を対象として、就学に係る費用を貸付する「生活福祉資金(教育支援資金)」貸付事業を実施しています。お子さんの就学に当たり、学費及び生活費の捻出にお悩みの際は、左記へご相談ください。

●貸付対象 低所得世帯(住民税非課税世帯程度)

●貸付条件 (1) 金融機関及びその他施策制度から融資を受けられない世帯

(2) 日本学生支援機構等の奨学金を活用しても就学に要する経費を賄えない場合

●貸付限度額 教育支援費

低所得世帯に属する者が高等学校、大学又は高等専門学校に就学するために必要な経費

- 高校 月額 3万5千円以内
- 高専 月額 6万円以内
- 短大 月額 6万円以内
- 大学 月額 6万5千円以内
- (2) 就学支度費 低所得世帯に属する者が高等学校、大学又は高等専門学校への入学に際し必要な経費 50万円以内

●貸付利子 無利子

●申込者 子ども等を借入申込者とし、保護者を連帯借入申込者とし、原則、連帯保証人は不要です。

●貸付審査 青森県社会福祉協議会の審査となります。この結果、貸付を受けられない場合があります。

●申込 問合せ先

- 本所 33-3023
- 川内支所 42-2002
- 大畑支所 34-3537
- 脇野沢支所 44-13550

むつ市社会福祉協議会会員へのご加入にご協力をお願いいたします。

むつ市社会福祉協議会（以下「社協」といいます。）は、地域の皆様に支えられた民間の福祉団体です。社協の事業を進めるための財源は、会員会費、寄付金のほかに、青森県社会福祉協議会、青森県共同募金会及び市からの補助金、助成金及び受託金により賄われています。

社協は、営利を目的としないため、事業を維持・発展させるための資金を集めることが大きな課題となっています。このうち会員会費と寄付金は、社協が民間福祉の推進機関として、自立的な活動を展開するための重要な資金となっています。

社協の活動をご理解いただき、ひとりでも多くの皆様の社協会員へのご協力をお願いいたします。

◇ 会員の種類 ◇

区 分	対 象	年会費
正 会 員	本会の理事・監事・評議員及び職員	3,000円
普通会員	むつ市に住所を有する世帯／町内会等の市民組織団体、福祉関係組織及び団体	1,000円から
賛助会員	社会福祉に関心を有し、本会の目的に賛同する一般個人又は法人団体等	3,000円から

◇ 入会方法 ◇

会員にご加入いただける場合は、本会へご連絡をいただけますと職員が伺い、入会申込書に必要事項をご記入いただき、会費納入方法等についてご案内させていただきます。

○ 問合せ・連絡先 総務課 ☎33-3023

福祉への心温かい、御寄付ありがとうございました。

皆様からいただいた寄付金は、各種の地域福祉事業に活用しております。



海上自衛隊大湊海曹会様より寄付をいただきました



青森県東部地区郵便局長会下北南部会様より寄付をいただきました

匿名様	95,937円
花 一 輪 会 様	46,734円
匿名様	22,349円
匿名様	100,000円
むつ市川内町商工会女性部 様	5,650円
川内町手をつなぐ親の会 様	88,035円
むつライオンズクラブ 様	30,000円
海上自衛隊大湊海曹会 様	32,000円
むつ商工会議所女性会 様	20,000円
匿名様	10,000円
菊池新聞店 様	50,000円
龍本寺 様	36,000円
宿野部地区会 様	16,249円
匿名様	30,000円
株式会社トーリン 様	50,000円
匿名様	30,000円
むつフレンドリークラブ 様	30,000円

主な物品寄付

匿名様	ポータブルトイレ
匿名様	懐中電灯、毛布 他多数
吉田和子 様	バスタオル9枚、タオル105枚
むつリハビリテーション病院	リハビリパンツ10袋、
デイケアセンター 様	尿取りパッド20袋
匿名様	紙パンツ1袋
匿名様	楯2個、トロフィー1個、額4個
匿名様	掛布団3枚、鍋3個、食器多数
青森県東部地区郵便局長会下北南部会 様	ポータブル電源1台
匿名様	ミルク1缶、おむつ1袋
匿名様	綿毛布4枚、二枚毛布12枚
匿名様	毛布4枚、敷きパット1枚

令和4年7月1日から令和4年12月31日まで